

【例題－農業4】

気象災害に関する次の記述のうち正しいのはどれか。

1. 霜害は、秋季又は春季の夜から朝にかけて気温が低下することにより発生する。特に被害が著しいのは秋季の霜害で、西日本に大きな被害をもたらす。
2. 霜害は地形による影響を大きく受け、谷間などでは霜はほとんど降りないが、傾斜地の中腹や河川周辺では被害が発生しやすい。
3. 夏季に太平洋高気圧の勢力が強まると、やませと呼ばれる冷たい南東の風が東北地方に吹き込んで、冷害をもたらす。
4. フェーン現象は、高温で乾燥した風が吹き込む現象で、台風などの通過によって発生する。出穂期のイネに白穂などの被害をもたらす。
5. 干拓地など海水の影響を受ける土壌では、高温・乾燥条件になると土壌水分が上から下に向かって移動するため、塩類が土壌内部にまで浸透し塩害をもたらす。

(正答) 4